

みうらトーク&トーク 平成 30 年度第 3 回

日 時

平成 30 年 11 月 30 日 (金)

13 時～14 時

場 所

三浦合同庁舎 1 階

参加者

心身障害児生活訓練会

テーマ

三浦市の療育について
～心身障害児生活訓練会の方向性～



三浦市長あいさつ

心身障害児生活訓練会 活動報告

<意見交換・概要>

市長

こんにちは。普段はなかなか皆さんとお話する機会がないのですが、今回トーク & トークという、市民の皆さんとの対話集会を実現することができました。ご相談を頂き、これから皆さんのお役に立てるように市としてやっていかなければならないと思っています。率直なご意見を頂きたいと思いますので、本日は宜しくお願い致します。

指導員

それではまず、すくすく教室から活動報告をさせていただきます。すくすく教室では、市の委託事業の一環として 40 年近く前より運営させて頂いております。受け入れ人数としては、最高で 20 名を受け入れ、親子登園と分離登園の体制で日々運営しています。保育内容としては、個々の発達に応じた個別カリキュラムを作成し課題を行うことや、運動会、クリスマス会等の幼稚園や保育園に近い活動を通し、子供たちの苦手意識をなくし、自信を持てるようになることを願い指導に当たっています。

また、親支援の活動として、月に一度「母親教室」を行い、各関係機関が担当となり、様々な問題解決に向けての話し合いを行っています。来月には調理実習を企画しています。

公共でのマナーや生活力を習得するために、公共の乗り物に乗って出かけたり、県の福祉バスを利用したの戸外活動も行っています。社会のニーズにあわせた対応を迫れる中、大きな集団に入る前の子供たちの療育の場が、小学校入学までの子供たちの対応に追われてしまっています。今年度は男性の職員の受入や、手話を使える保育士、

「トリプル P（前向き子育てプログラム）」のファシリテーター等、様々な方々が在籍し、お互いに持ち合わせた知識で補いながら現在に至っています。

市長 今は在籍が 20 名でよろしいですか。

指導員 はい。

市長 ありがとうございます。これだけは言っておきたいことや市の職員が分からないような経験等をお話していただきたいです。それを受け止めて市として今後どうするか考えていきたいので、気が付いたことがあれば教えてください。

市民 うちの子は生まれつきの心臓病なのですが、1 歳の頃に三浦に住みたいという思いから引越してきました。すすく教室に通わせてもらうきっかけは、心臓病だけでなく発達も遅れていたのも、療育教室が近くにないのかと医師の方から言われたことです。市に問い合わせしてみたところ、すすく教室があるとの事で来させてもらいました。小学校に入学するときの学校見学もすすく教室の方から行かせてもらい、校長先生や教頭先生とお話させて頂く機会も頂きましたので、不安が少し収まりました。

小学校に入ってから相談できる場所が少ないと感じます。すすく教室も卒業してしまったので、学校や市に相談することも敷居が高く感じてしまうので、はっぴー子育て応援団の行っている「ママカフェ」という所で色々相談させてもらっていて、とても助かっています。

市長 はっぴー子育て応援団には我々も助けていただいております、教員の OB の方や専門的な知識を有する方もいるので、相談しやすいと思います。学校や市役所に相談しにくいというのはあまりよろしくないですね。

市民 少し敷居が高く感じます。

市民 子ども課の方はすごく親身になってくれ、先日も相談させて頂きました。市役所はまじめな方が多く、窓口に行きづらい感じがありますが、子ども課の方はすぐに出てきて声をかけてくれます。子供を連れていても、あやしながらでも子ども課や福祉課で会話ができるようにしてくれます。また、些細な子どもの発達などを、担当の保健師さんと子ども課の方が親身に相談に乗っていただけるのでとても助かっています。

市長 ありがとうございます。

市民 子どもが心臓病を疾患していると子ども課に伝えると、心臓病の子供を持つ親が集

まる会が年に6回ほど茅ヶ崎であるので行ってみては、と助言をもらいました。子ども課の方はとても良くしてくれ、感謝しています。

市民

私の子どもは、横浜にある発達障害のクリニックへ行っており、どうしても集団に入れないといけないと言われたのですが、幼稚園の入園をすべて断られてしまい、子ども課の方に相談をしました。その時も快く相談に乗って頂き、最終的には上宮田小羊保育園を進めてくれ、入園できるように手続きしてくれたことが救いでした。2年保育で行きましたが、そのおかげですごく伸び、小学校までスムーズに行くことができました。その前段階としてのすすく教室でしたが、先生と保育園の先生、さらに子ども課の職員とも連携がとれており、統一した方向性を持ってくれていたおかげで、今は落ち着いて学校に通えています。

今の施設にも、子供用トイレなどの設備がもう少しあった方がいいと感じます。人員の確保も必要だと思います。食事は自分で食べる事が出来ない子でしたが、お弁当を持って行く日には、先生の援助と声かけで少しずつ自分で口に運ぶようになりました。やる気の問題ではありますが、自信を待って保育園に行けたので、こういった場は本当に助かります。

市民

私の子どももトイレが思うようにできず、「遺糞症」という便秘の病気を疾患しています。そのことで悩んでいましたが、小学校に行く前に改善できるように、すすく教室で親身になっていただき、こども医療センターの受診につなげていただきました。今は少しずつ改善しています。

市長

先生はしっかりと子供たちの状況に応じて対応していますか。

市職員

はい。個々のケースに対応しています。

市民

私の場合は、乳幼児健診の前に自閉症を疑っておりましたが、健診時には診断されませんでした。しかし、なるべく早く療育を受けたかったので、直接先生に相談したことですすく教室に入れてもらえました。

現在はインターネット上に、療育について細かく描かれた漫画などで情報が紹介されています。しかし、人手不足などが原因で週1回、午前中の2〜3時間ほどしか通えないので、幼稚園選びにとっても苦労しました。横須賀市には、三浦市民でも受け入れてくれる施設があります。

今はテレビ番組でも発達障害について取り上げたりされているので、義務教育前の頭が柔らかい時に、絵カードの使い方など、分からなくても毎日繰り返し行い、義務教育に入ってから支援級に入るのが理想的だと思います。

私の子供は支援級に行くことになっていましたが、行動障害に近く、泣いたり叫んだりすることが多いために集団の中に入れません。障害があるのに三浦市では行くと

ころが無くなってしまった状況です。しかし、幼稚園の時期と小学校に入るにあたっては、専門的な先生に掛かれて良かったが、掛かれなかったら大変だったと思っています。

障害があるからと引っ越して来る方も多いため、もっと療育が充実していれば定着すると思うし、無いからと引っ越した方も残念ながらいいます。三浦市の福祉は高齢者関係だけでなく、障害にも力を入れていると言えれば、引っ越して来る家族も増えると思います。自然環境にはとても恵まれているので、環境を良くしたらと思います。

市長

専門的に相談できるような相談体制が充実した方がいいと思います。発達障害だけでなく、子供達全般の相談をするための窓口を今年から市役所に作りましたので、ぜひご利用ください。先程も敷居が高いというお話をお聞きしましたが、そうならない様に我々も注意したいと思います。

市民

今まで児童相談は、三浦市は藤沢市へ行かないとできず、とても大変でした。

市民

私の子は現在小学校1年生ですが、言葉も少なく発達障害を疑い、健診時に相談させていただきました。その時は様子を見ましようと言われ、そのままにしてしまいましたが、やはり他の子と比べると発達が遅いのではないかと気になっており、半年に一度ほど保健師さんと相談をさせてもらっていました。そこで、年長の時にすすく教室を紹介していただきました。私はそれまで、すすく教室というものがあることを知りませんでした。

小学校に上がるまでの1年間通わせていただきましたが、それまで人前に出るのも苦手だった子が、今では人前に出て歌を歌うなど、様々な事が出来るようになりました。すすく教室の先生方が子供のことをよく見てくれ、色々な課題に取り組んで下さったおかげで、ここまで伸びることができたと思っています。学校見学をさせてくれたり、教育委員会の先生ともお話をさせていただき、入学するまでに不安なところは取除かれ、今は楽しく学校に通っています。

しかし、子供がもっと小さい時にすすく教室というものを知っていたら、今以上に伸びていたのではないかと、どうしても思ってしまう。誰しも子育ての事で不安になっていたり、お友達にも言えなかったりすることがあります。療育の場があるということはすばらしい事ですので、三浦市の方で発信していただけたら、お母さんたちが楽になると思います。

市長

相談できない家庭があり、潜在的なニーズがあると捉えてなければいけないですね。

市民

私も自分で調べたことがありますが、すすく教室について知らず、三浦幼稚園に行った時に初めて教えてもらいました。私の場合は幼稚園に入る前にすすく教室に

入ることができ、とても伸びました。今の意見を聞いて、もっと大々的にアピールしたり、教室での様子や活動内容などをホームページに載せたらいいと思います。

うちは農家なのですが、農家の人達の中でも教室を知らない方や、発達障害に悩んでいる方がいます。活動内容にはクリスマス会などもあるので、そういったイベントの様子も写真付で載せたらわかりやすいですし、インターネットで検索すればすぐに出てくるように前面に出したほうが、悩んでいるお母さん達にもわかりやすいのではないかと思います。

市長 すくすく教室は、ホームページなどは無いですか。

指導員 FAX やインターネット設備は無く、有るのは市との電話だけです。

市長 わかりました。そういうことは発信していかないといけませんね。直ぐに考えます。

市民 例えば赤ちゃんの健診の時に、こういう場があると言う周知を手紙やチラシでいいので、親御さん方に配っていただきたいです。ただ発達が遅れていますではなく、健診の前に一般の知識として周知してもらえれば、お母さん達も悩んでしまうことが少なくなるのではないかと思います。

市長 後ろにいらっしゃる皆さんはどうですか。

市民 現状のあり方が発達途上にあるので、満足できるものではないと考えています。例えば小中高大と進学するイメージをしていたのに、全く違う人生を歩まないといけなくなった時、必要な物が分からない。親たちが母体となって、施設を作ったりする動きもありますが、例えば世界規模の最新の情報や施設を作る時に必要な情報などを市がまとめて発信するなどのサポートが出来ないでしょうか。親が足を運んで調べないといけなのでは効率が悪いと思います。そのページにアクセスすれば、過去にあった前例などの知りたい情報が表示され、それを参考に私達はこうしようと決めることができるのもいいと思います。

障害などの告知は、健康な人に置き換えればがんの告知と同じような衝撃です。その時に、今後どの様に生きていくか、どのような希望が欲しいか、そういうポイントを表示し、どの様に進んでいくかの選択肢を、親が選べるということが重要だと思います。色々な選択肢があって、迷ってしまうがこれにしてみよう、と思える選択肢を表示してくれる様な市のサイトができれば嬉しいです。

提供されるサービスは、その時期には合っているかもしれないが、次の時期にはもう合っていないかもしれません。子どものその時のレベルに合わせた、大学の科目選択の様なスケジュール設定を親と専門家が様子を見て決め、どの様な効果が出ているか、変化があったのかなどの確認が取れれば理想的です。

インターネット上には情報が溢れているので、未就学児から大学まで発達障害の子を扱っているような情報を1カ所に集中させた分布図の様なものがあれば分かりやすいです。

指導者が専門家の方たちとの交流し、スキルアップするセミナー開催など、やり方を再構築する事も必要かと思います。

市長

ワンストップで相談できるような仕組みができていないということですね。今の様なお話は三浦市だけの問題ではなく、全国的に取り組まなければいけない事です。三浦市でも横須賀市と連携しなければいけない事や、広域的に対応しなければいけない項目があるが、仕組み作りは必要だと思います。

他にはどうですか。

市民

私の子はすすく教室に10月から通い始めたのですが、2歳児の友達との行動の仕方やししゃべり方も少し遅いために悩んでいました。健診の時に先生からこの教室を教えてください、通うようになってから今まで出来なかった事が出来る様になりました。コミュニケーションが下手な子なので、私が言ったことが通じているかどうか分からず、不安になることがありました。主人にも持病があり、誰にも話すこともできず、自分が働かなければいけない。ただどうにかしなければいけないという中で、私の時間がある時に通わせてもらっています。保育園の関係や、時間的な問題もあり、働いているお父さんお母さんとしては、短時間保育のサポートなどがあると嬉しいです。

今自分が経営している音楽教室では、障害を持つ子供を受け入れ、相談をしながらやっていますが、他では断られてしまったという親御さんを何人も見えています。

小学校に上がるまでがすすく教室のありかたですが、小学校に上がってからも療育の場があれば、親も安心して色々な事ができると思います。仕事をしている罪悪感も無くなり、高校生にもなれば自立をして就労をする等の選択肢も増えると思います。が、義務教育中は手をかけてあげなければいけません。

例えば勉強の事や身支度の事等、色々な問題が出た時にすすく教室だけでは治りません。学校に上がると先生方も忙しいため、言いづらいというお話も伺っています。学校以外で養育の施設があれば親の心の拠り所になると思います。

市役所の方にはとても良くしてもらっており、本当に感謝しています。

市長

小学校入学後の支援、例えば学童保育などのニーズにはどう答えているのか。

市職員

申請を受けて学童保育には支援をつける場合もあります。

市民

横須賀市だと、学校が終わってから移動支援というものが利用でき、18時まで預かってくれる所もあります。三浦市でも何かの時に移動支援があればありがたいと思い

ます。

市民

学童保育だとコミュニケーションの問題などもあるので、他のデイサービスはないのかと調べてみても、1カ所しかなく、そこも満員で今は空く予定がないと言われました。そうなる横須賀市で送迎がある所を探すことになります。なぜ三浦市民なのに市内で預けられないんだと歯がゆさを感じます。

小中高と上がっていく中で、子供はどんどん成長していきます。ぜひ療育や放課後デイサービスが充実してほしいです。今の規模ではやはり物足りません。

市民

学童保育でもマンツーマンで見えていただける職員がいればいいのですが、保育園の先生からも学童保育では、恐らくちゃんと見てもらうことは難しいと言われたため、働くつもりでしたが、そちらも短時間に抑えている状況です。

保育園に関しても、子ども課の方はちゃんと時間いっぱい対応してくださいでしたが、保育園側が手がかるということで、短時間保育を進められ、ひどい時には12時までにはしてくださいと言われることもありました。もちろん働いていないと保育園に預けられないですし、仕事が終わったらすぐに迎えに行くなど、私もリラックスする時間がない状態が2年間続いていました。そこもみんなと同じように17時まで預かっていただきたかったが最後まで通らずいつも1人だけ先に帰ることになっていました。みんなとさようならもできずに小学校に上がってしまいました。

市民

うちは健診に引っかからずに幼稚園に入れたのですが、幼稚園側から大きい集団は少し難しそうなので、小さい集団からやっていきましょと進められ、すすすく教室に入りました。

幼稚園にはすすすく教室に入ったことや発達障害があること、子どもの特性も全て説明し、多少の考慮をお願いしました。しかし、発達障害について理解されている職員の方と、理解されていない職員の方がいらっしやって、私の子供も訴える力が余りなかったもので、すすすく教室の先生をととても頼ってしまいました。幼稚園の先生方にも発達障害についての理解を深めていただきたいです。

もう一つ、小学校に入ってから思ったことがあります。それは、親も勉強しなければいけないということです。三浦市内小中学校の支援級の子が集まる機会があり、養護学校の先生や教育委員会の方が来てお話をしていただけます。私は2回参加したのですが、全く同じ内容でした。発達障害は年齢によっても親の悩みは異なるので、低学年・高学年・中学生というように分けて行う勉強会のようなものがあったら嬉しいので、ぜひ機会を作っていただきたいです。

市長

勉強会や講演などの機会があった方がよいという意見ですので、例えばどんなテーマでやってほしいとかあればぜひ言っていただきたいです。お子さんたちの年齢によっても違いますので、ご意見をいただくことは可能です。

お母さんの会のようなものはありますか。すくすく教室の母親の会などは。

指導員 月に一度「母親教室」という勉強会をさせていただいています。専門の保健師さんなどの指導者がお母さん方と行っています。

市長 指導者の方々のご意見はどうですか。

指導員 保護者の中にも、週1度しか通えなかったり、時間も短いという意見が多くあります。私たちももっと見てあげたいと常々思っていますが、限られた委託料の中で指導者が対応することには難しい面や、金銭的に不可能なことがあります。職員の後継者育成という問題も、1人の指導者が多くを担う今の体制が続いている中では若手が育っていきません。そういった面でも、新しい指導者が入ってきて、この中で療育に向けて頑張っていこうと思える給料体制や福利厚生ができれば、内容も充実してやっていけるのではないかと感じています。その問題が改善されると若い世代も取り入れて、ここで療育を続けていこうと思う人たちが増えていく気がします。

市長 わかりました。

指導員 以前の施設でのトイレトレーニングがうまくいったというお話が先ほど出ていましたが、4月にこちらの施設に移ってから、残念ながらトイレ・洗面所が離れてしまい、今通っているお子さんがトイレトレーニングをできなくなっている状況が続いています。さらに、これから風邪が流行する季節になると思いますが、手を洗うことはとても重要で、さらに心臓病を疾患しているお子さんもいる中では、手洗いができないことがとても心配なことの一つです。

三浦市は自然が豊かなので、蚊・アリ・ダンゴムシや捨て猫まで顔を出すのですが、網戸がないために蚊が入ってくるので、感染症も心配です。子ども課の方でも検討してくださったのですが、この窓は網戸がつけにくいものだと言われました。

今の現状ですと、手洗い場とトイレ、そして虫対策が保健衛生的に心配です。

市長 その件につきましては、私も以前から伺っております。

指導員 以前は大きな集団に入るためのすくすく教室でしたが、最近は併用される方が増えてきていて、3歳児から年長だと6歳児までいて、年齢の開きがあるので、年齢別の保育がしたいとか、障害別の保育がしたいとか、そういった面でも施設の問題で難しいのかなと感じることもあります。

指導員 この教室も前の施設では台風が来るたびに雨漏りをしていましたが、県へ話を通してくれ、この場所へ移してくれました。多少保育に支障をきたす先ほどの問題なども

ありますが、以前よりは改善されました。

しかし、今日出た意見のように、選べる療育の場がここしかないというのは問題だと思います。幼稚園に入園されるお子さん、小学生のお子さんの問題と色々含め、もっと施設が増え、三浦の子が三浦で育っていけるようになることと、私たちの跡を継いでくれる指導者が定着することを願って、今できることから解決につながっていければと思います。ありがとうございました。

市長

本日は様々なご意見を頂戴しまして、まずは解決できることからやっていきたいと思ひますし、日常で市の職員が個々の問題に対応できるような仕組み作りを検討させていただきたいです。この施設の非常に不便な面のお話も伺ってますので、場所も含めて検討をしていきたいと思ひます。

福祉はいろいろありますが、子育てというものは非常にニーズが高いです。保護者の方々の苦勞は我々がきちんと受け止めないといけないと思ひていますので、しっかり取り組んでいきたいと思ひます。福祉部も教育委員会も体制を整えていますので、市の職員には気軽に相談してください。

本日はありがとうございました。

※

公表については了承を得ております。